

## 全国学力・学習状況調査結果について

4月に実施された6年生全国学力・学習状況調査の本校における結果を報告します。これは、あくまでも平均をもとに考察した学力の一部分であります。全職員で分析、研修をし今後の学習指導の参考として活用するものであります。

学力調査は、国語、算数、理科（3年ごとに実施）の3教科について行われました。国語、算数ともに「A：基礎的・基本的な知識・技能が身につけているか」と「B：基礎的・基本的な知識・技能を活用できるか」に分かれており、理科はAとBの両方の内容が含まれています。

国語A・B、算数A・B、理科ともに全国平均をやや下回る結果でした。設問別の正答率をみますと、良好な項目と課題がある項目があります。それぞれの教科の設問別の分析結果をまとめてみました。

### 《今後の指導の方向～国語～》

- ①漢字の意味や使い方も大切に扱いながら定着を図ります。また、日記や作文で習った漢字を活用できるようにしていきます。
- ②文章と図とを関連づけて読んだり、説明したりする活動に力を入れます。また、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりしながら話す活動を大事に扱います。
- ③目的に応じ、取材したり、調べたりした内容を整理して書く活動を充実させます。

### 《今後の指導の方向～算数～》

- ①学習内容の系統性を大事にし、単元の素地になる基礎基本の部分を家庭学習等で復習しながら、学習を進めます。
- ②学習したことを用いて日常生活の事象を合理的に判断し処理する学習を充実させます。
- ③問題を解決した過程を友だちに説明する活動の中で、言葉や数、式、図、表、記号等を用いて記述し、説明する学習を充実させます。
- ④共同学習（学び合い）：分からない時に聞き学び合う活動を大切にします。

### 《今後の指導の方向～理科～》

- ①子どもの疑問から学習問題を作り、予想をもとに実験観察に取り組む追究的な学習を大事にします。
- ②実験結果を分析し、考察しその内容を記述する活動を充実させていきます。

## I 国語の状況

### 1 主として「知識」に関する問題（A）

- (1) 結果が良好であった内容
  - ・目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。
- (2) 課題がある内容
  - ・文の中における主語と述語との関係に注意して文を正しく書く。
  - ・文の中で漢字を使う。

### 2 主として「活用」に関する問題（B）

- (1) 結果が良好であった内容
  - ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。
- (2) 課題がある内容
  - ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
  - ・話し相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

## II 算数の状況

### 1 主として「知識」に関する問題（A）

- (1) 結果が良好であった内容
  - ・ $180^\circ$ の角の大きさを理解している。
- (2) 課題がある内容
  - ・円周率の意味について理解している。
  - ・小数の除法の意味について理解している。

### 2 主として「活用」に関する問題（B）

- (1) 結果が良好であった内容
  - ・合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見つけ出すことができる。
- (2) 課題がある内容
  - ・メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目することを解釈し、それを記述できる。
  - ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。

## III 理科の状況

- (1) 結果が良好であった内容
  - ・より妥当な考え方をくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。
- (2) 課題がある内容
  - ・より妥当な考え方をくりだすために、実験結果を分析して考察しその内容を記述できる。
  - ・実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。

各教科共通している課題は、問題の意味を読み取り、式や図に表し、自分の考え方で追究すること、自分の考えをまとめ、書く内容を整理して記述することです。

また、この調査では、生活習慣や社会に関する興味・関心、地域との関わり、将来に関する意識、自尊感情等と学力との関係を相関的に見ることができます。正答率と特に関わりの深かった項目は「家で、学校の宿題をしていますか」「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において教科書を使いながら学習していますか」等でした。この項目の評価が高かった児童は、学力調査の正答率も高かったことが言えます。